



NISHINARI YOSHIO : いのち輝く未来社会のファッションショー

誰もが服づくりに携わる場を地域の中に定着させることをめざし活動してきたブランドが、地域の高齢者や外国人住人、留学生など多様な人々をモデルにアート×福祉による誰もが孤立しない共生社会の実現をファッションショーという形で表現する。

「NISHINARI YOSHIO」は、美術家の西尾美也と、手芸を媒介にした創造の場「kioku 手芸館 たんす」に通う地域の高齢女性との2018年から続く共同制作を、ファッションブランドとして社会に実装するアートプロジェクトです。西尾と女性たちとの予期せぬズレをコンセプトの一つに、作業着＝日常を生きるための服を提案し、誰もが服づくりに携わる場を地域の中に定着させていくことをめざしています。

今回「NISHINARI YOSHIO」としては初の試みとなるファッションショーを開催します。具体的には、地域の集会所を会場に、「たんす」の参加者である高齢者や海外からの移住者、留学生がモデルとなり、これまでに生み出された洋服や、ワークショップなどで制作したアイテムも取り入れることで、アート×福祉による誰もが孤立しない共生社会の実現をファッションショーという形で表現します。

日時 | 2025年10月5日(日) ① 13:30-14:00 ② 15:30-16:00

会場 | 山王集会所 (大阪市西成区山王 2-10-24)

* 座席定員: 各回 45 名 (要申込 / 立ち見申込不要) / 雨天決行

クレジット

プロデューサー: 西尾美也

演出・構成: おかだゆみ

作曲・サウンドデザイン: 瀧澤晟司

音響スタッフ: 菊池航 | 舞台監督: 小林夢祈

ヘアメイク: 田城尚美

制作: 松尾真由子、長谷川亮徳、田城照兜、堤悠、川本早花、高岩みのり

記録: 片山達貴、金サジ、小川美陽

グラフィックデザイン: 堤拓也

主催: 東京藝術大学西尾美也研究室

共催: 一般社団法人 brk collective

助成: 東京藝大「I LOVE YOU」プロジェクト / 共生社会をつくアートコミュニケーション共創拠点

協力: 大阪関西国際芸術祭実行委員会 / NPO 法人日越支援会
社会福祉法人山王みどり会 / 愛の家 小規模多機能型居宅介護
大阪松 / 山王訪問看護ステーション NPO 法人釜ヶ崎支援機構
山王連合振興町会

これまでの経緯から今後の展望

「NISHINARI YOSHIO」は、大阪市の文化事業として実施していた地域密着型アートプロジェクトの一環として2012年に開館した創造活動拠点・kioku 手芸館「たんす」でのプロジェクトに、美術家・西尾美也を招聘したことがきっかけとなり生まれた。

「たんす」では、美術家と地域住民が出会い、相互に影響を与え合いながら、共にものづくりに取り組む場として、地域のなかに定着してきました。活動を続けるなかで、「たんす」の担い手へと変化を遂げつつあるコアメンバー（地域の高齢女性）と西尾による、継続的・長期的なプロジェクトを想定し、「衣服」や「装い」に対する固定概念を崩すためのワークショップ実施。2年間の準備期間を経て、2018年に共同制作によるファッションブランドを立ち上げました。「NISHINARI YOSHIO」の商品は「身近な人への思いやり」や「自分の人生を表す最後の3着」といった美術家からメンバーに出されるお題からデザインされ、不要になった生地を活用し1点ごとに布違いで制作していることも特徴です。

ブランドの発足から8年が経ち、今や共同運営者となった地域の女性たちは、拠点である「たんす」に週2日通うほか、日々自宅での制作を継続しています。服づくりを通じて、本人自身も想像を超える表現への探究心を日々高めています。車椅子生活になっても「たんす」に通うことを励みに制作を続ける方もおり、人は年齢に関わらず「創造」への欲求を失うことなく、どこまでも輝くことができる姿を目の当たりにしています。

今後は、福祉制度からみれる、もしくは既存の福祉制度ではカバーしきれていない地域住民の社会的孤立に焦点をあて、医療や福祉など他領域の支援者とともに、「NISHINARI YOSHIO」の創作活動を施設や各家庭に届けるアウトリーチの活動として、アートを媒介とした新たな交流をめざしています。地域に暮らす多様な人々の創造性を触発し、制度と制度のはざまから抜け落ちる人々をエンパワーメントできるような事業へと発展させていきたいと考えています。

外国人住民との新たな試み

2023年からは、地域に急速に増えつつある外国人住民との服づくりにも着手し、新たな展開を試みています。かつて日雇労働者の街として全国各地から労働者が集まり、その中で繁栄してきた同地域の商店街は、労働者の高齢化、不況による失業など時代の変遷のなかでシャッター街と化していましたが、ここ10年ほどで中国系・東南アジア系のカラオケ居酒屋や飲食店等が大量に入居しています。技能実習生や留学生として来日する外国人も多く、繁華街にも近い利便性から仕事へのアクセスの良さや比較的家賃相場が低い住宅事情から西成区の居住者は増加傾向にあり、現在では外国人比率が15%になるようとしています。ただ、同じ地域に生活する住民にも関わらず、旧住民とのつながりはなくその生活実態や背景を知る機会はほとんどありません。そのような中で、彼/彼女らとの接点として「ファッション」はひとつの可能性があると考え、「NISHINARI YOSHIO」の服づくりワークショップを重ねることで、将来的にはブランドの共同制作者として活動を共にしていくことをめざしています。

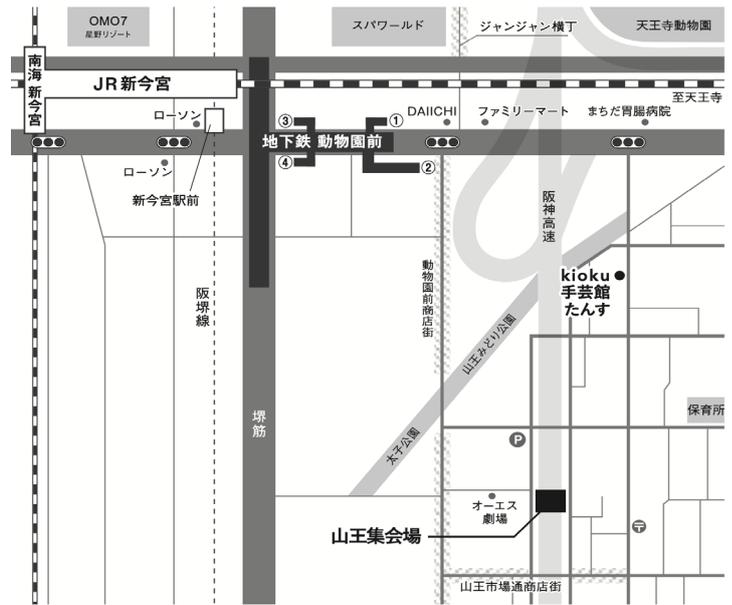
当初より西尾と地域の高齢女性との間で起こっていたズレがコンセプトとなっているブランドにおいて、在日外国人との文化や生活習慣の違いが地域の中ではネガティブな印象として語られがちですが、そのズレこそ重要なポイントであり、活動を通じて地域住民との間に起こるズレをきっかけにブランドの新たな展開に着手したいと考えています。



会場

山王集会所（大阪市西成区山王 2-10-24）

■大阪メトロ 御堂筋線 / 堺筋線「動物園前駅」②番出口
より徒歩5分（阪神高速高架下）

**NISHINARI YOSHIO**

美術家の西尾美也と大阪市西成区山王にある kioku 手芸館「たんす」に集まる地域の女性たちとの共同制作により 2018 年に立ち上げた西成発のファッションブランド。地域の女性たちによる予想を裏切るアレンジや発想の飛躍、西尾が考えるイメージとの齟齬など、予期せぬズレをコンセプトの一つに、作業着 = 日常を生きるための服を提案している。NISHINARI YOSHIO の商品は、「身近な人を想定し、その人への思いやりをデザインする」や「自分の人生を表す最後に着たい 3 着をデザインする」といった西尾からメンバーに出されるお題から生まれたもの。「たんす」に集まる不要になった生地を活用し、1 点ごとに布違いで制作していることも特徴のひとつである。2023 年より地域に急速に増えつつあるベトナム人コミュニティと服づくりのワークショップを実施している。

既存の日常の行為としての「装い」に介入していくことで、社会に新しいコミュニケーションを生み出すこと、誰もが服づくりに携わる場を地域の中に定着させていくことをめざしている。また、大量に生産・消費される既存のファッションへの批判的態度としての表現活動でもあり、アートとファッションの領域を横断しながら新たな表現手法を開拓し、社会に広く発信していくための実験でもある。

これまでの活動に、阪急メンズ大阪（2018）、あべのハルカス（2019,2024）、西武池袋本店（2022,2023）、仙台フォーラス（2022）などの商業施設での展示販売のほか、グループ展「Study:大阪関西国際芸術祭」（2022,2023,2025 /大阪）、「だれもが文化でつながるサマーセッション 2023」（2023 /東京）、個展「最後のファッション」（2022 /仙台）、「最後のオプション」（2023 /大阪）、「あらわすいとなみ vol.1 kioku 手芸館 たんす」（2024 /佐賀）などがある。

<https://nishinariyoshio.com> <https://tansu.brk-collective.net>

西尾美也（にしおよしなり）

1982 年奈良県生まれ。美術家。東京藝術大学美術学部先端芸術表現科准教授。装いの行為とコミュニケーションの関係性に着目したプロジェクトを国内外で展開。近年は「学び合いとしてのアート」をテーマに、様々なアートプロジェクトやキュレトリアルワークを通して、アートが社会に果たす役割について実践的に探究している。主著に『装いは内破する』（左右社）、『美術は教育』（現代企画室）がある。

<https://yoshinarinishio.net/>

一般社団法人 brk collective [ブレコ]

「たんす」を運営するブレコは大阪市の芸術文化振興事業の一環として 2003 年より始動した「ブレーカープロジェクト」の企画・運営を担ってきた事務局メンバーによって、これまでの経験と蓄積をさらに様々な地域で展開していこうと 2015 年 7 月に設立。

芸術文化が人々の創造性をはぐくみ、多様な価値が共存する社会の再構築に不可欠であるという認識のもと、新しい表現活動を支える環境整備のほか、教育・福祉・まちづくり等、領域を超えた連携・協働のプラットフォーム形成に向けた事業や調査に取り組む。

<https://brk-collective.net/>

写真



photo: 麥生田兵吾 (上、下段)、坂倉圭一 (中段)

お問い合わせ

一般社団法人 brk collective (担当: 松尾)

TEL | 070-5046-8667

E-mail | info@brk-collective.net